



横浜市立倉田小学校

幼保小連携推進地区事業推進校

令和3年 5月31日

学校だより

6月号

“つながり いきいき 倉田っ子”

学校ホームページ URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/school/es/kurata>



お月さまの力で

校長 末松 隆一郎

街で見かけるアジサイも色づき始め、時折すれ違う少し湿った南風の背中越しに「夏」を感じる頃となりました。

5月26日(水)は3年ぶりの皆既月食でした。今年はそれに加えスーパームーンの満月。月が今年最も接近し、いつもの満月に比べ見かけの大きさが14%、明るさでは30%も明るく見える満月となります。が、26日当日は、残念ながらさすがのスーパームーンも雲の厚みには勝てず・・・でした。我が家からは皆既食後の9時頃、ようやくおぼろげながらも姿を見せてくれました。皆さんのお宅ではいかがでしたでしょうか。

さて、私たちが住んでいる日本は、古から「月」をととても大切にしてきました。「お月さま」と呼ばれるこの星(衛星)には、神様が住んでいると信じられていました。秋の収穫時期の中秋の名月の頃行われる「お月見」も、もともとは農作物の豊作祈願と収穫への感謝を表す行事でもあったそうです。電気や照明がなかった時代、月明かりを頼りに農作物の手入れや収穫に追われていたこともあり、農家の生活にとっては非常に重要な役割を果たしていたからこそ、「お月さま」と崇められてきたのでしょう。

そんな「お月さま」には、神様以外にも住んでいる人がいるのではということから、今から1000年以上も前に、我が国最古の物語である「竹取物語」というお話も書かれました。「かぐや姫」として、今でも親しまれていますね。また、地球から見えるクレーターの模様から、月にはウサギが住んでいてお餅をついているという言い伝えも生まれました。



アポロ11号が月面に降り立ち、メディアが普及した現代においても、この最も身近な天体に対する思いは萎えることなく、月にいるのはウサギや神様やかぐや姫だけでなく、「正義のヒーロー」もいるかもということで、「月光仮面」や「美少女戦士セーラームーン」といったヒーローも誕生しました。

私たちの生活や文化に古より関わってきた「お月さま」。今年のように皆既月食とスーパームーンが重なるのはとてもレアなこと。レアだからこそ、そこには大きなムーンパワーがあるそうです。どんなパワーがあるのかと調べてみると、皆既月食には破壊からの再生、そして、スーパームーンには、強力な願いの引き寄せとのこと。今の私たちに、一番必要な、ほしいパワーですね。このスーパームーンと皆既月食のムーンパワーで、コロナ渦からの再生に世の流れが傾いてくれることを願ってやみません。

—今年度の水泳学習について—

今年度の水泳学習につきましては、・マスクを外すプール内も含め、着替えやシャワー等においても密の回避が困難であること。・全学年実施とした場合、安全を確保するための指導者の配置が難しいこと等を鑑み、プールに入っただけの水泳学習は無しとし(6年以外)、水辺等での水難事故防止と安全につながる学習を以下のように実施したいと思っております。ご理解・ご協力よろしくお願い申し上げます。

○個別級・1年～5年 水難事故防止・安全確保行動学習(実演見学もしくは資料等による)

○6年生 水難事故防止・安全確保行動実技学習

※6年生は昨年度水泳学習一斉中止に伴い、高学年「安全確保につながる運動」の学習を行っていないため、クラスごとに十分に安全配慮をしながら、7月に2回程度実施を予定しています。

